

2025/2/17 (月)

朝の礼拝

聖書 ヨハネによる福音書 14 章 6a 節 (新約聖書 192 頁)

イエスは言われた。「私は道であり、真理であり、命である。」

学び続ける

事実の一つ、真実はひとの数以上に、そして常識や道徳は時代や社会の数だけあります。でもどんなに変化しても変わらないものを真理と呼びます。イエス自ら「わたしは道であり、真理であり、命である」と言っている通り、イエスの教えは変わらない人生の軸になります。

もうすぐ一年の学びが終わります。わたしも出席率はともかくとして中学2年生の数学に参加してきました。とても勉強になりました。問題を解きながら自分の思い込みや勘違いに気づかされ、また数学が言葉の意味や論理の展開と関係が深いことに改めて驚きました。

数学も国語も教科書の学びは事実を学び、試験の答えは一つです。でも実際、ひとの人生はひとの数だけの生活があり、真実は誤解や邪推、噂も含めるとひとの数以上にあります。だから英和では変わることはない真理、人生の軸としてイエスの言葉に耳を傾けます。

そして私たちは自然に学校生活、家庭で、社会で真理を確かめていると言えます。これからも変わることなく「今、私にとって、私たちにとって何が最も大切で、必要なのか」を求め、確かめるために学び続けていきましょう。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、この一年の学びをふりかえる時を迎えています。英和生と先生方の学びに感謝を献げます。特に生徒会活動など、自主的、主体的に取り組んだ学びに祝福を与えてください。またご家族の支え、先生方のご指導にも感謝します。どうかこれからも困難や試みは一つの通過点として、いつも喜び、絶えず祈り、どんなことにも感謝して学び続ける英和生を祝福してください。今日一日も、すべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン